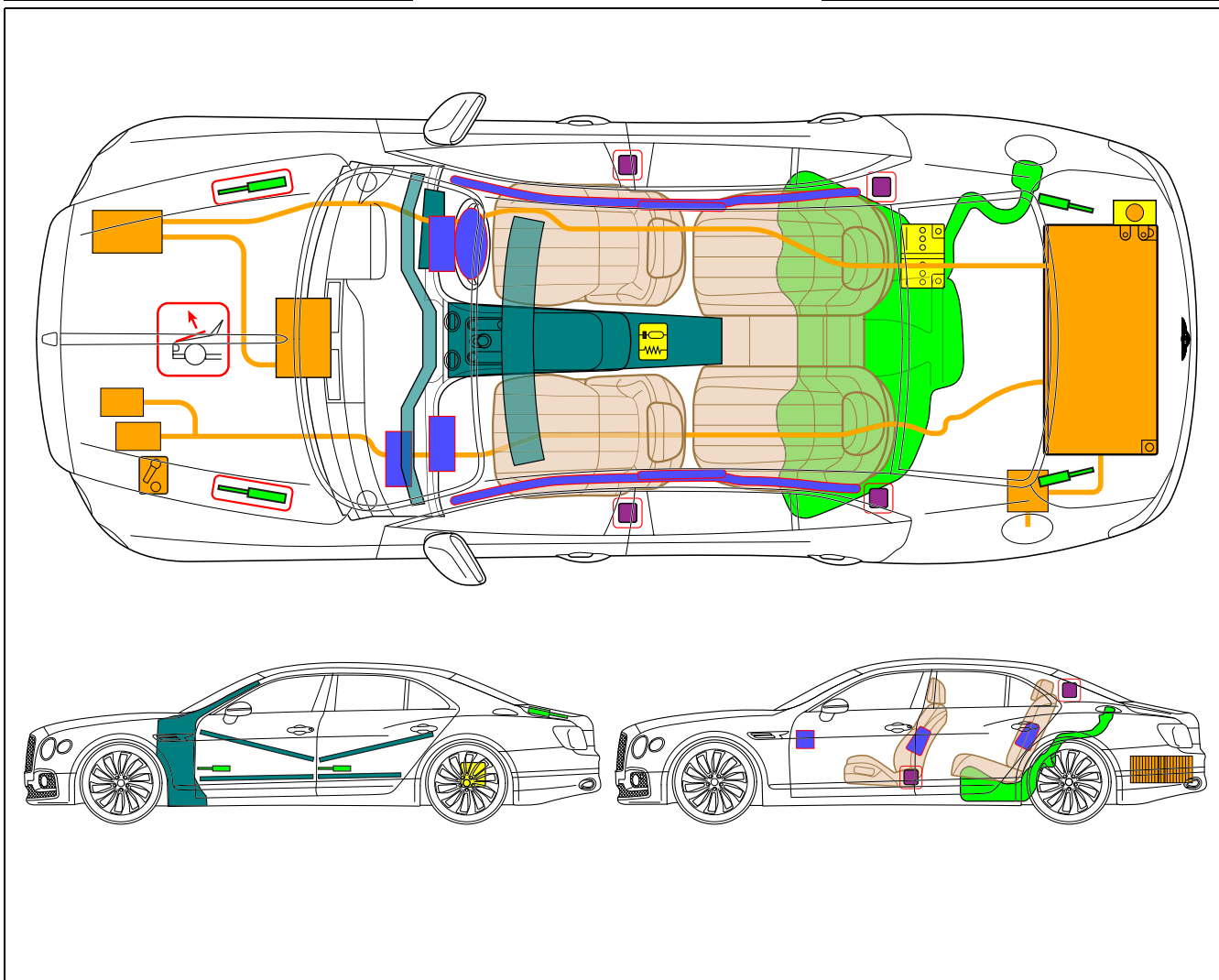
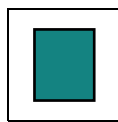
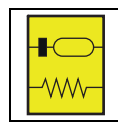


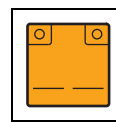
エアバッグ



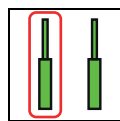
高強度範囲



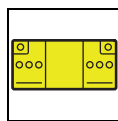
SRS コント
ロールユニ
ット



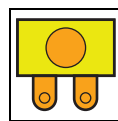
高電圧バッテ
リー



ガス封入ダン
パー



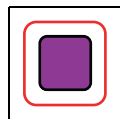
低電圧バッテ
リー



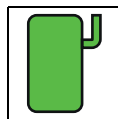
高電圧無効化
ヒューズボッ
クス



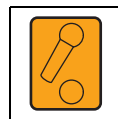
高電圧電力
ケーブル



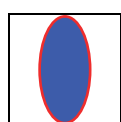
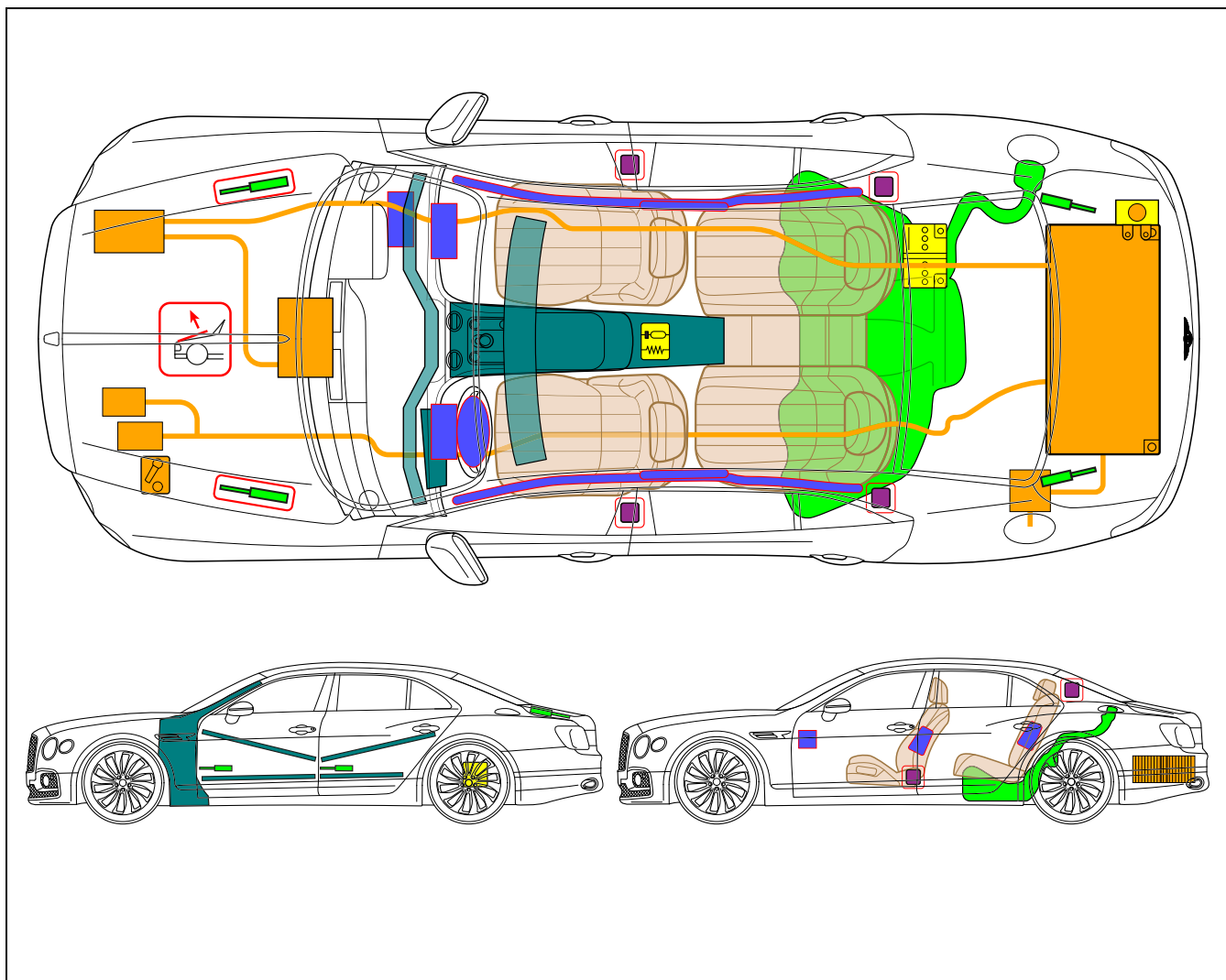
シートベルト
プリテンショ
ナー



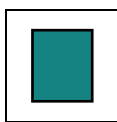
燃料タンク



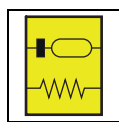
高電圧を遮断
する高電圧装
置



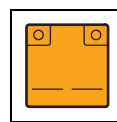
エアバッグ



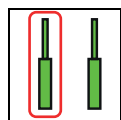
高強度範囲



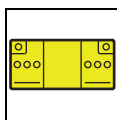
SRS コント
ロールユニッ
ト



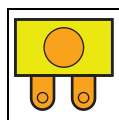
高電圧バッテ
リー



ガス封入ダン
パー



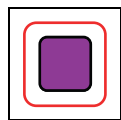
低電圧バッテ
リー



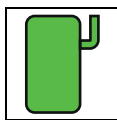
高電圧無効化
ヒューズボッ
クス



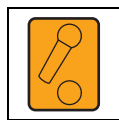
高電圧電力
ケーブル



シートベルト
プリテンショ
ナー

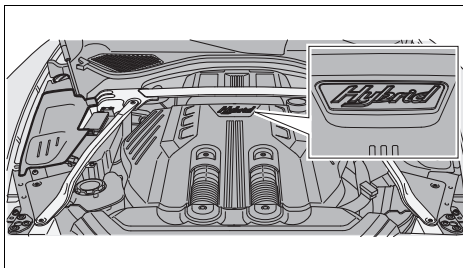


燃料タンク



高電圧を遮断
する高電圧装
置

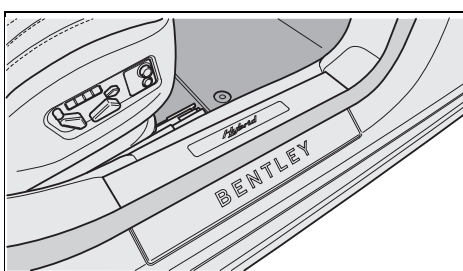
1. 識別／確認



エンジンカバーの「HYBRID」 バッジ



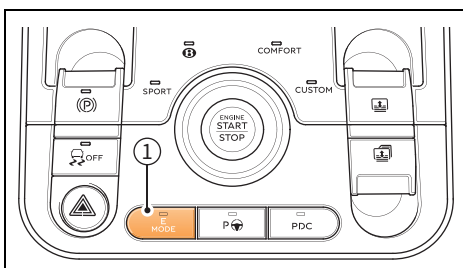
両フロントウイングの「HYBRID」 バッジ



各トレッドプレートの「HYBRID」 バッジ



インストルメントクラスター内の「EV DRIVE」(1) と高圧バッテリーゲージ (2)

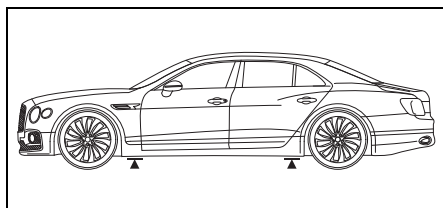
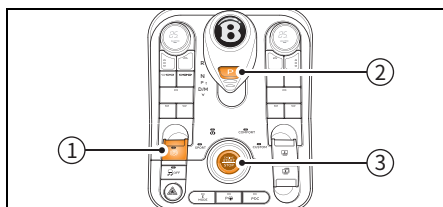


エンジンスタート/ストップボタンの横にある「EV」モード表示灯 (1)



車両左後部の充電ソケットリッドを開けるとある充電口

2. 固定化／安定化／持ち上げ



1. ブレーキペダルを踏んで、車両を停止します。
2. スイッチ (1) を引き上げてパーキングブレーキをかけます。
3. セクターレバーのパーキングロックボタン (2) を押してパーキングロックをかけます。
4. スタートストップボタン (3) を押してイグニッションをオフにします。

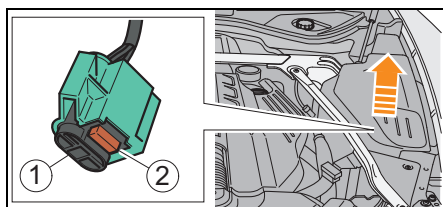
必要に応じ、図のジャッキアップポイントを使い、車両を持ち上げます。

3. 直接的なハザードの無効化／安全規制

緊急時電源切断の第 1 ポイント：エンジンルームの 12V サービスプラグを抜く

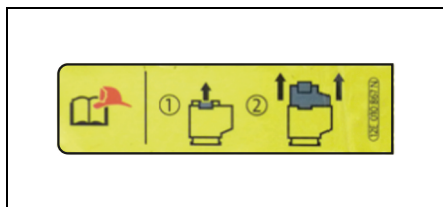
事故発生時にエアバッグまたはシートベルトプリテンショナーが作動すると高圧システムが自動的に停止します。

状況に応じ、緊急時電源切断の第 1 ポイントまたは第 2 ポイントのどちらかを使い、高圧システムを確実に停止してください。



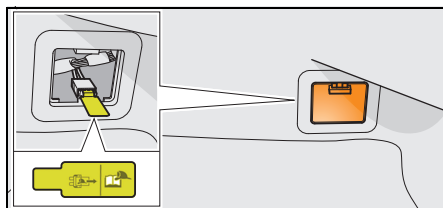
1. イグニッションをオフにします。
2. エンジンルーム左側のカバー（矢印）を取り外します。
3. リテーナー (2) を押し、リリース装置を押し下げ、高圧システム用メンテナンスコネクタ (1) を引き出せるだけ引き出します。

エアバッグやシートベルトプリテンショナーなどのパッシブセーフティシステムには、車載の 12V バッテリーからまだ電圧が供給されています。



詳細な手順は黄色のフラッグラベルを参照してください。

緊急時電源切断の第 2 ポイント：トランク右側のヒューズボックスのヒューズを抜く



1. トランク右側のヒューズボックスカバーを開けます。
2. ヒューズ No.1 を抜きます（フラッグラベルのイラスト参照）。

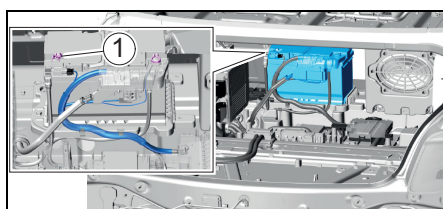
エアバッグやシートベルトプリテンショナーなどのパッシブセーフティシステムには、車載の 12V バッテリーからまだ電圧が供給されています。

パッシブセーフティシステムを停止する

12V バッテリーのケーブルを外す

車載の 12V バッテリーに電圧が流れないようにするには、緊急時電源切断の第 1 ポイントまたは第 2 ポイントを使って高圧システムを停止する必要があります。

パッシブセーフティシステム（エアバッグとシートベルトプリテンショナー）の停止方法：



車両にジャンプケーブルが接続されていないことを確認します。

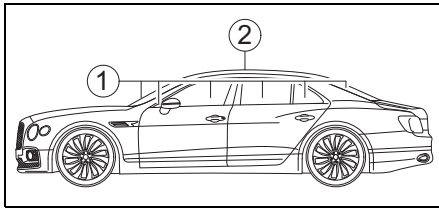
1. トランクのバックボードを取り外します。
2. 12V バッテリーのマイナスクーブル (1) を外し、うっかり触れないように固定します。

12V バッテリーの接続を外してから 1 分後に高圧システムの電源が切れます。

4. 乗員へのアクセス

1～2 ページのイラストに示されているようにボディには高強度ゾーンがあります。

ガラスの種類



1. 安全合わせガラス
2. 安全単板ガラス - 装着されている場合

5. 蓄積されたエネルギー／液体／ガス／固体

エネルギーアキュムレータが損傷した場合：



安全規則を遵守してください。セクション3を参照してください。

6. 火災の場合



高圧バッテリーに影響のない小規模な車両火災の場合は通常の消火方法を適用できます。

液体やガスが入っている容器（ガストラット、エアバッグインフレーターなど）は熱が加わると爆発したり、BLEVE（沸騰液膨張蒸気爆発）を起こすことがあります。高熱エリアに立ち入る前に、必ず十分な処置を講じてください。

高圧バッテリーが高温にさらされたり、発火したり、ケースにゆがみや亀裂など生じている場合は、大量の水でバッテリーを冷却してください。利用できる水が十分あることを確認してください。

バッテリー火災の消火には最大で 24 時間かかります。バッテリーが燃え尽きるまで待つ必要がある場合もあります。その場合は、周辺環境と人を保護するための予防措置を講じてください。煙や蒸気が上がっている場合は、バッテリーの温度が上昇を続けています。

事故現場を離れる前に、熱画像装置を使用して、高圧バッテリーが完全に冷えていることを確認します。高圧バッテリーの温度が低いことが確認された後も、少なくとも 1 時間は引き続き高圧バッテリーの温度を監視します。1 時間以上経過後もバッテリーの温度が低いことが確認されるまで、警察や復旧作業員などを車両に近づけてはいけません。

リチウムイオンバッテリーは自然発火したり、消火後に再発火したりすることがあります。

再発火の危険があることを警察や復旧作業員に警告してください。

高圧バッテリーが損傷するような衝突に巻き込まれた車両は屋外の駐車場に保管します。他の車両や建物、可燃物等から十分に距離をとり、人の立ち入りを制限します。

事故によって高圧システムが損傷し、一部が露出している場合は、耐候性のある防水シートで覆います。

警告！

- 火災が発生した場合は、車両全体が通電されていると想定してください。車両のどの部分にも触れてはいけません。
- SCBA を含む PPE を必ず着用してください。

7. 水没の場合

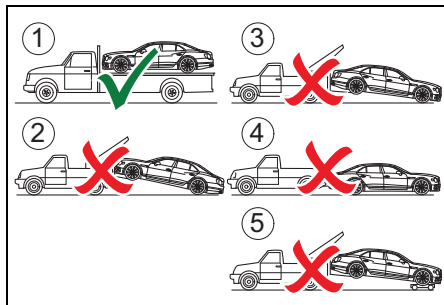
完全に水没または部分的に水没した場合の対応は一般的な車両と同様です。

車体が水に浸かっているため、感電の危険は高くありません。

⚠ 警告！ 水没車両を扱うときは、適切な PPE を必ず着用してください。

車両を水から引き上げ、4 ページの「緊急時電源切断の第 1 ポイント：エンジンルームの 12V サービスプラグを抜く」にしたがって高圧システムを停止します。

8. 牽引／移動／保管



事故後、車両を正常に運転できない場合は、事故現場から運搬する必要があります。

⚠ 注意！

- 車両は (1) に示すように、四輪とも荷台に載せて運搬してください。
- (2)、(3)、(4)、(5) のように牽引してはいけません。
- 荷台に載せて運搬する前にハザードライトを点滅させ、すべてのドアをロックします。
- 運搬中に車内に立ち入ってはいけません。

- 車両前後に装着されているリカバリーフックは牽引用フックではありません。緊急を要する状況から車両を回収するときに、固定式牽引バーを使用して専用の運搬トラックに載せるために使用するものです。
- 可能であれば、前部のリカバリーフックを使用してください（後部のリカバリーフックは平坦な場所を低速で移動するときに短時間だけ使用します）。そうしないと、リカバリーフックの取付箇所やその周囲のボディ部品が損傷するおそれがあります。
- エンジンも電気システムも作動していない場合は、ブレーキアシストもステアリングアシストも利用できません。そのため、制動距離を長めにとり、余裕をもって操舵してください。
- 必ず「パーキングからニュートラルへの緊急解除」を行ってから車両を回収してください。そうしないと、トランスミッション部品が損傷するおそれがあります。
- 事故現場から車両を移動させるのは、移動させても安全であると確認できてからにしてください。高圧バッテリーの変形、液漏れ、煙などが発生している場合は、適切な処理が完了していることを必ず確認してください。
- 高圧バッテリーが損傷するような衝突に巻き込まれた車両は屋外の駐車場に保管します。他の車両や建物、可燃物等から十分に距離をとり、人の立ち入りを制限します。
- 事故に巻き込まれた車両を牽引してはいけません。必ず四輪とも荷台に載せて運搬してください。
- リチウムイオンバッテリーは自然発火したり、消火後に再発火したりすることがあります。

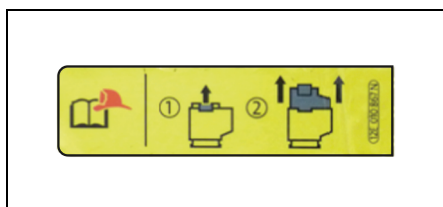
9. 重要な追加情報

ハイブリッドコンポーネントのラベル

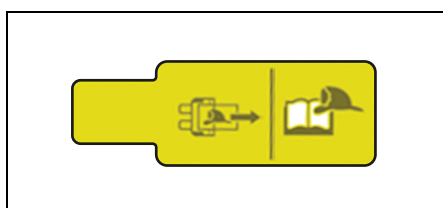
すべての高圧コンポーネントと高圧切断ポイントには、警告ラベルまたはお知らせラベルが貼られています。



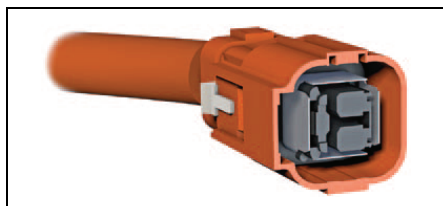
高圧コンポーネントのラベル



サービスディスコネクトのラベル



ヒューズのラベル



すべての高圧ケーブルにはオレンジ色の絶縁体が付いています

ハイブリッドシステムの安全に関する情報

車載高圧システムのプラグ、コネクタ、ケーブル、ソケットは、損傷していなければ触れても安全です。

⚠ 危険！ 取り扱いを誤ると、感電によって重傷または致命傷を負う危険があります。

高圧コンポーネントを正しく取り扱わないと、致命傷を負う危険があります。

- 動作中の高圧コンポーネントに触れてはいけません。
- 車載高圧システムのオレンジ色の高圧ケーブルを傷つけてはいけません。
- 車載高圧システムのスイッチを切った後も、高圧バッテリーに電圧が残っている場合があります。高圧バッテリーを傷つけたり開けたりしてはいけません。

パッシブセーフティシステムと高圧システムのスイッチを切る

⚠ 警告！ 停車しているときはモーター音が静かです

停車してるときはモーター音が静かなため、車両が発進可能かどうかをモーター音からは判断できないことがあります。

- エンジン音が聞こえなくても、発進可能な場合があります。
- イグニッションをオンにすると、高圧バッテリーの充電量に応じて内燃エンジンが自動的に始動する場合があります。

10. 使用したピクトグラムの説明



可燃物



急性毒性



腐食性物質



健康有害性



水生環境有害性



流体グループ
1を燃料とす
るハイブリッ
ド電気自動車



感電注意



水で消火



リチウムイオンバッテリー



危険電圧



吊上げ位置、
中央支持



注意